

大学祭連携企画シンポジウム

命の糧「食」の価値を 感じ・考え・伝えるために

教師をめざす学生を対象とした酪農家民泊体験実習の試み

登壇者

小幡 泰弘 氏（文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課
健康教育企画室室長）

安達 永補 氏（民泊先酪農家／JAしべつ青年部）

宮前 耕史 氏（北海道教育大学釧路校准教授）

参加学生2名（北海道教育大学釧路校3年生）

司 会

近江 正隆 氏（北海道教育大学釧路校非常勤講師／文部科学省「今後の
学校における食育の在り方に関する有識者会議」委員）

主催 北海道教育大学釧路校ESD推進センター

後援 北海道教育委員会 釧路市教育委員会 JA北海道中央会根釧支部

協力 根室地区農協青年部連絡協議会、（株）ノースプロダクション
北海道教育大学釧路校大学祭実行委員会

現在、学校においても様々な食育の取り組みが行なわれています。食育をさらに充実発展させるためには、日々、子どもと向きあう教師自身こそが「食」とこれを産みだす第一次産業の価値を「体験」を通じて身をもって実感し、頭で考え、他者に伝える力を身に付けていることが必要となります。以上の問題関心から、本学では将来教師をめざす学生を対象とした酪農家宅への食育民泊体験実習を軸とした学習プログラムを実施しました。本シンポジウムでは、その意義と効果について検証します。

 国立大学法人
北海道教育大学
HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION

2013年 **10月26日**（土）

13:30～15:30 開場30分前

北海道教育大学釧路校 講義棟502教室

問い合わせ先：0154-44-3214（釧路校総務グループ）